

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 令和2 年度

市町村名	長瀬町			
提案事業名	長瀬町WEB版移住窓口・お試し移住体験プロモーション事業			
事業期間	令和2 年度 ～ 令和2 年度			
事業の必要性、目的	お試し移住施設や移住窓口における専従での人材確保については、その必要性は感じているものの、ランニングコストの観点で、導入及び実施することが困難である。また、町としてはより多くの移住希望者に対してのアプローチが課題であると感じている。これらの課題解決のため、WEB上に窓口（専用サイト）を設けることにより、移住窓口の人的及びハード面のコストをスリム化し、また移住希望者の門戸を拡大するもの。			
成果指標	（成果を検証する指標） 窓口相談件数			
	（成果検証の具体的な方法） WEB窓口での問合せ及び役場窓口での問合せ件数及び個別相談・個別ツアー参加者数の実測合計値とする。住民への公表方法については、町HP内にて公表を行う。			
	（上記の指標を設定した理由） 本事業は移住トライアル事業であるため、移住希望者が「興味」の段階から自ら「行動」を起こしたステップアップの実数を成果指標とする。			
	（成果の目標値）			
	現状値 （令和2年1月現在）	4 件 （窓口は令和元年12月より運用開始）	目標値 （令和3年3月時点）	225 件
	（施設建設等の場合）			
年間利用者数(目標) (人)		稼働率(目標) (%)		
住民への公表方法 及び特記事項				

【成果指標と構成事業の関連性】

令和2年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① WEB版移住サポート・おためし移住体験事業	ソフト 『WEBお試し移住体験』コンテンツが併設した『移住WEBサポート窓口』サイトを開設。幅広い地域及びニーズの最初の受け皿として機能させ、興味から行動への導線設計の役割を担う。	6,000
② 移住プロモーション事業	ソフト 上記ソフト事業について、イベントや広告展開などにより、多くのターゲットに向けてPR事業を行う。より多くの移住希望者に「まず知ってもらおう」流れを整備し、サイト等への誘因を図る。	2,000
③	ハードソフト間接補	
④	ハードソフト間接補	
⑤	ハードソフト間接補	
⑥	ハードソフト間接補	
合計		8,000

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	上記ソフト事業及び役場窓口を受け皿とし、広告露出、プレスリリース等の情報発信により、より多くのターゲットへのリーチを図る。
成果指標の達成見込み	○専用サイト想定セッション数 30,000回閲覧×1/2（想定利用者数）×1%（アクション数）⇒150人 ○役場窓口問合せ数（専用サイトからの流入除く） 5人/月×15月（令和2年1月～）=75人 150+75=225人